

# い な づ ま

題字 小 寺 寛 一

発行所 函館地方電気工事協同組合  
 編集 総 務 部  
 住 所 函館市日乃出町7番22号  
 印刷所 畠 山 印 刷



木戸浦函館市長ごあいさつ

## 新年のごあいさつ

理事長 大倉 伸 夫



新しい年を組合員の皆様方には、お褒りなく迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

願ひますと、不況不況と言われ乍ら、又寅年は去って行きました。

迎える卯年も景気の良くなる保証は何もない年でありませぬ。

オイルショック以来の長い間何がよくなっても、悪くなっても景気がよかったと言う声は、ここ道南では余りきかれませんでした。

只、私共の電気工事業界が、それでも尚粘り強く生き残って居られる事は、限りなく急速に進歩しているニューメディアに代表される諸技術に支えられているからであり、又これ等の進歩について行けなければ取残される事にもなるのであります。組合もこれ等業界の進展に合わせて変化して行かなければなりません。

又各企業が一つの枠の中の仕事をダンピングに依る受注合戦を続けて行く限り行きつく目標は決まっているようなものです。

現在より景気は悪くなる事が当り前という前提の中で諸計画を樹て、協力し合い、吾が業界の繁栄を願うものであります。

同時に世代の若返りを図り、電気屋になってよかったと思う将来像を夢見たいものです。

今年も組合員の皆様ご家族従業員全員のご健闘と、無事故無災害を祈念し、新年のごあいさつといたします。

# 新年のご挨拶

北海道電力株式会社函館営業所

所 長 片 山 敏 勝



新年明けまして、おめでとうございます。

組合員の皆様方には、この輝かしい新春をご家族とともに、お迎えのことと、お喜び申しあげます。

昨年は寅年、虎の如く景気も躍進するものと、期待しておりましたが、全国的な円高不況の中で道南地方も、その影響を受け依然として、低迷状況が続いた一年でありました。

この事は電力需要面にも表われ、電灯等一般民生需要の伸び悩みとともに、電力関係の停滞が大きく影響して昨年一二月末の累計実績で前年対比九三・〇パーセントと七・〇パーセント減となっております。

この傾向は、ここ当分続くものと思われ、当社としても、需要の開発と深夜負荷造成になお一層の努力が必要であり、皆様方のご協力を心からお願い申し上げます。

しかしながら、昨年後半の住宅建築は、マンション、等集合住宅が主力ながら、戸建住宅建設も、久しぶりで、回復の兆しも見られ、前途に明るさが垣間見られる年でもありました。

一陽来復、卯年の今年こそは飛躍の年。内需拡大等景気刺激対策の効果の表われを期待するとともに、兎の如く慎重ながらも確実に、体質改善、合理化等企業努力を積み重ねながら、明るい未来に向かって、手を取りあって、進みたいと存じます。

年の始めに当たり、当社社業に対する日頃のご理解

と、ご協力に感謝申し上げますとともに、皆様とご家族の方々の御健勝と貴組合のご発展を祈念し年頭のご挨拶といたします。

## 役員会だより

### 第七回役員会

六一・一一・一四

#### 一、慶弔報告

(一)、(株)奥尻電機従業員逝去

(二)、富士技研代表者母堂逝去

#### 二、貸付報告

五社 一九〇万円

#### 三、各支部報告並提案事項

各支部それぞれ会議を開催したが特記事項なし

#### 四、総務委員会事項

(一)、スパイクタイヤ使用自粛に係る協力要請について

(二)、北海道最低賃金の改正について(前号掲載済)

(三)、雇用保険不正受給防止の協力要請について

(四)、商号・代表者の変更について

・東和電気工事(旧東和電気)

・三興電機(株) 吉田政光(旧岡田昌介)

(五)、商法、有限会社法の改正概要について

(六)、会計中間監査報告

(七)、組合譲渡・譲受加入について

(八)、(株)花田電気―花田電気工事店(承認)

(九)、組合脱退申込みについて

・ 柳 電 気 ( 慶 業 ) ( 承 認 )

(十)、(株)高橋電設工業所 ( 慶 業 ) ( 承 認 )

(十一)、新年会、永年勤続者表彰式について

開催日 一月三〇日(金)

場 所 ホテル函館ロイヤル

#### 五、技術・教育委員会事項

(一)、研修会・講習会の日程

・ 主任電気工事士研修会 六二年三月二五日

・ 技術設計研修会 六二年三月一四日

(一)、引込線改修工事の付託について

(二)、(詳細別途通達済)

(三)、高圧計器工事施工会社申込について

高 A 六社 } より申込があった。

高 B 二八社 }

#### 六、事業委員会事項

(一)、計器受払業務について

(二)、第三者損害賠償制度等実績資料について

(三)、全日電工連終身年金プランについて

(四)、冬期間における従業員の本州派遣について

#### 第八回役員会

六一、一二、九

#### 一、慶弔報告

(一)、久保田電気工事店代表者怪我入院見舞

(二)、坂村電機商会代表者病氣入院見舞

(三)、斉藤電気商会代表者病氣入院見舞

(四)、西川電気商会従業員逝去

#### 二、貸付報告

二社 六〇万円

#### 三、各支部報告並提案事項

八雲支部

(北檜出アロツ之) 新加入組合員所属の従業員永年勤続

表彰について検討して欲しい。

#### 四、総務委員会事項

(一)、昭和六二年度年末特別融資について

(詳細別掲)

(二)、道工業組合旅費還元について

(三)、支部運営費の支出について

(四)、永年勤続者表彰式について

新規加入組合員にかかる表彰申請については、準

組合員期間(一年間)を経過してから受付ける

こととした。

(五)、一般転貸事故者の処理について

(六)、年末年始の業務取扱について

(七)、事務局職員冬期手当について

組合行事

- (四)、新年宴会について
- (内)、労働災害ならびに交通災害等の事故防止について
- 五、技術・教育委員会事項
- (一)、昭和62年技術設計研修会について
  - 日時 三月一日(出九・五〇)〜一七・〇〇
  - 場所 所川ホテル函館ロイヤル
  - 受講料 一五〇〇円
- (二)、昭和62年主任電気工事士研修会
  - 日時 三月二五日(休一三・〇〇)〜一七・一〇
  - 受講料 二〇〇〇円
- 六、事業委員会事項
  - (一)、住友団体共済制度の組合運営費、事務費の補助について
  - (二)、第三者損害賠償制度事故調査費補助について
  - (三)、本州派遣について
  - (四)、保守管理業務の拡大について
  - (五)、住友団体共済制度への加入拡大

- 10月3日 北海道電気工事業厚生年金基金代議員会に大倉理事長出席(於札幌協組)
- 7日 第六回役員会
- 8日 全道単協事務長会議(詳細前号掲載)
- 9日 東支部会議
- 14日 団体中央会勉強会に坂本事務局長出席(於中金函館支店)
- 16日 北海道計器検定協議会に大倉理事長ほか理事九名出席(組合会議室)
- 17日 昭和六一年度年末特別融資説明会
- 全日 西支部会議
- 全日 北支部会議
- 20日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席
- 24日 第四回電気工事業全国大会に大倉、細川、吉田正副理事長出席(於大阪市)
- 25日 団体中央会勉強会に坂本事務局長出席(於拓銀ビル)
- 28日 苫小牧協組創立二〇周年記念式典に吉田副理事長出席
- 全日 会計中間監査
- 11月4日 北電高圧計器工事会社申込説明会(出席者三九名)
- 5日 道工業組合事業委員会に大倉理事長出席(於札幌協組)
- 6日 団体中央会勉強会に坂本事務局長出席(於拓銀ビル)
- 10日 国鉄職員就職促進青船鉄道管理局管内地方連絡会議に大倉理事長出席(於合同庁舎)
- 11日 小規模企業振興委員連絡会議に坂本事務局長出席(於函館商工会議所)
- 13日 昭和六一年度年末特別融資審査委員会
- 全日 八雲支部八雲ブロック内線研修会
- 14日 第七回役員会
- 全日 管内北工連絡会議に大倉理事長ほか役員一五名出席(於北電41会議室)
- 20日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札幌協組)
- 21日 中渡島支部会議
- 27日 西支部会議
- 12月4日 道工業組合技術・経営委員会に吉田副理事長出席(於札幌協組)
- 5日 いなづま編集会議
- 6日 八雲支部八雲ブロック会議
- 9日 第八回役員会
- 10日 団体事務長会研修会

- 11日 赤川支部会議兼忘年会
- 12日 東支部会議
- 18日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長出席(於札幌協組)
- 全日 西支部会議兼忘年会
- 全日 中支部会議兼忘年会
- 29日 御用仕舞
- 1月6日 御用始
- 9日 東支部役員会
- 14日 八雲支部八雲ブロック新年会
- 16日 北電引込改修工事打合会議
- 19日 道工業組合会計監査に吉田副理事長出席
- 20日 道工業組合役員会・委員会に大倉理事長、吉田副理事長出席
- 21日 中渡島支部研修旅行(参加者二四名)
- 22日 北支部会議
- 23日 東支部会議兼新年会
- 全日 八雲支部森ブロック北電研修会に参加
- 27日 小規模企業振興委員連絡会議に坂本事務局長出席(函館商工会議所)
- 29日 江差支部会議兼新年会
- 30日 第九回役員会、交通安全講習会、永年勤続者表彰式、新年宴会(於ホテル函館ロイヤル)



# 永年勤続者表彰式・新年宴会

## “ホテル函館ロイヤル”で開催

昭和六十一年度永年勤続者表彰式ならびに昭和六十二年新年宴会が一月三十日ホテル函館ロイヤルで舉行された。

午後二時より第九回役員会が別室で行われたあと、恒例の研修会が開かれ、道警函館方面本部交通課の五十嵐春夫企画第一係長による交通安全講話と交通事故による補償関係の映画で、約一時間に亙り八十余名が熱心に聴講した。

当日は、郊外が午後から吹雪となり、定刻の開会が危ぶまれたが、表彰式が始まる午後五時三十分には、官庁関係・北電・電材問屋メーカー・保険会社等関係来賓四十三名のほか、永年勤続被表彰者十九名（四名が欠席）および組員・事務局職員を含め総勢百九十名が一堂に会した。

まず関係物故者に対して黙禱を捧げたあと、大倉理事長がいさつにたち『オイルショック以来の不況の中にあつて、函館地方の景気は良くなる兆しを見せていない。明年は青函博と言うインパクトはあるが、函館の基幹産業の全てが不況の中で苦しんでいる。電気工事も目で見えて判断していた時代から頭で考へ紙の上を書く、新しいスタイルへ技術者を育成、新時代に対応していきたい』と述べ積極的な取組みを求めた。

このあと、永年勤続者表彰に移り、勤続二十五年以上の貴田秀雄氏（樺電工業㈱）ら二十三名に大倉理事長から記念品と表彰状が手渡され、長年の労苦をねぎらった。

来賓の祝辞は、木戸浦隆二函館市長と北電小林一三函館支店長のお二人より頂戴し、受彰者代表より謝辞のあと、交礼会に移り、北電片山敏勝函館営業所長の祝盃で賑々しく祝宴となった。



### 昭和六一年度

## 年末特別融資実行

昭和六十一年度の年末特別融資が、二月一五日例年通り実行されました。

昭和五十二年に第一回目を実施以来今年で一〇回目を数えますが、今年度の貸出しは一〇〇万円融資が六件二〇〇万円融資が八件合計一四件二、二〇〇万円の融資となり、第一回目から通算すると三億八、七〇〇万円の融資となりました。

◎年末特別融資利率 年六・七五パーセント

## 組合員の異動

〓商号・組織・代表者変更〓

(新) 東和電気 (旧) 東和電気

一、東和電気工事(中渡島支部) 東和電気

一、(前)扇谷電気工業(江差支部) 扇谷電気工業所

代表取締役扇谷和教 代表者扇谷巳之作

## 組合員消息

一、一月上旬 釣谷電気工業所代表者釣谷修逸殿病氣入院(二月上旬退院)

一、一月三〇日 西川電気商会従業員西川孝一殿逝去

一、一月三〇日 梶谷電気商会ご合室梶谷信子殿逝去



今回より地元三区選出の三名の国会議員を招待したが、阿部文男代議士と奥野一雄代議士は代理出席、佐藤孝行代議士のみ来席、宴半ばではあったがご挨拶を頂戴した。

余興として例年行なわれていた支部対抗のカラオケ発表は時間的な都合で出来ず、来賓・組合員の中より数名の人達に自慢のノドを披露してもらい、和やかな懇談に終始した。

かくして午後八時三十分北海道電気資材卸業組合の島谷晃函館支部長の音頭により、関係者一同の益々の繁栄と健康を祈念して乾盃、無事終宴となりました。

昭和六十一年度永年勤続者表彰名簿 (敬称略)

事業所名	勤続 25 年以上	
	氏名	2 名
樺電工業 (株)	貴田秀雄	
共栄電気工業 (株)	松永宏行	
勤続 20 年以上 3 名		
北邦電気 (株)	関本務	
タマツ電気工業 (株)	竹内正三	
日本電機保全 (株)	友兼豊	
勤続 15 年以上 6 名		
北海道電設工事 (株) 函館支社	小野誠二	
同 右	坂野明	
(有) 山田電気工業	白岩五郎	
厚沢部電気工業	佐々木孝	
日本電機保全 (株)	三嶋孝一	
樺電工業 (株)	横川克巳	
勤続 10 年以上 12 名		
北海道電設工事 (株) 函館支社	宮崎勝彦	
北邦電気 (株)	榎谷師仁	
大倉電気 (株)	荒木一夫	
同 右	大宮博久	
(株) 北電工	小林和治	
協信電気工業 (株) 函館支店	福永忠志	
同 右	池田力也	
(有) 奥尻電機	福野正士	
小沢電気商会	田中勉	
同 右	永井誠一	
佐上電気 (株)	鶴井雄二	
樺電工業 (株)	小杉由則	

税務だより

◎ 所得税の確定申告は

正しく、お早めに!

六十一年度の所得税の確定申告は、二月一六日から始まりです。

申告期限は三月一六日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかったり、長時間お待ちいただくようなことにもなりかねませんので、確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

〔正しい確定申告を〕

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早めに申告と納税を行ってください。

〔白色申告者も収支内訳書の添付を〕

事業所得や不動産所得、山林所得を生ずべき業務を行なっている場合(青色申告書を提出する場合を除く)は、六十一年度の確定申告書を提出するときに、その先の総収入金額や必要経費の内容を記載した収支内訳書を添付することになっています。



**謹 賀 新 年**  
**今年もよろしくお願ひ申し上げます**

あかるい明日を技術でひろく

**東芝電材株式会社**

040 函館市大縄町二十二番十四号  
電話 函館 四二一三三四一

函館営業所

吟味する

**松下電工株式会社**

函館出張所

040 函館市西桔梗町五八九番地一〇七  
電話 函館 四九一五二二五

工事材料・電化製品

**丸晃電気株式会社**

040 函館市西桔梗町五八九一四九  
電話 四九一三三三三

電気設備機器資材の総合卸商社

**大興電機株式会社**

本社 函館市西桔梗町五八九一〇七  
電話 代 四九一六二二一  
営業所 山越郡八雲町内浦町一〇七  
電話 (0137) 三三三三六九番



三菱電材特約店  
あらゆる電設資材卸

**隆東電機株式会社**

040 函館市西桔梗町五八九一〇八  
電話 四九一六二二二六

電設資材・機電総合卸

**進和電機株式会社**

040 函館市松川町三四一三  
電話 四二一六二二三一

明日をひろく電設資材の総合卸商社

**株式会社 工三ヤ商会**

函館営業所

040 函館市富岡町丁目四一―一七  
電話 四三三三〇一―(代表)  
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧

電気工事材料  
音響通信機器 総合商社

**石垣電材株式会社**

本社 札幌市中央区北六条西三丁目二番地  
支店 063 苫小牧市新中野町一丁目二番地  
040 函館市中央区北六条西三丁目二番地  
函館営業所 040 函館市中央区北六条西三丁目二番地  
(0137) 五五一四二二番地